



地下鉄短信 (第330号) 平成30年1月15日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博
電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事 ○ 大阪市交通局及び札幌市交通局が、第11回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞!!

○ 大阪市交通局及び札幌市交通局が、第11回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞しました。

大阪市交通局のホームドア整備に合わせたホーム嵩上げ等の事業、及び札幌市交通局の路面電車の歩道側走行方式の採用等の事業が、公共交通機関、道路、建築物などの国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人・団体を表彰する、第11回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞しました。



表彰状を受領する塩谷大阪市交通局長（左）及び野崎札幌市交通局長（右）

表彰式は、去る1月12日（金）に国土交通省において行われ、石井国土交通大臣から塩谷大阪市交通局長及び野崎札幌市交通局長に表彰状が授与されました。

【大阪市交通局】

- 1 受賞案件 「ホームドア整備に合わせた既存路線における車いす使用者の単独乗降の実現」
- 2 受賞理由

地下鉄の既存駅において、可動式ホーム柵の整備に伴いホームを改修し、ホームと車両の段差・隙間を極小化し、車椅子利用者が駅員の介助無く乗降できるようになるなど、様々な利用者の乗降の際の利便性・安全性を著しく



向上させた。他社への波及が期待される画期的な取組。

また、トイレのリニューアルに合わせて機能分散を進め、利便性を向上させたこと。当事者団体との意見交換等に基づくスパイラルアップの実施も受賞理由となった。

【札幌市交通局】

- 1 受賞案件 「乗降場のバリアフリー化、マナー教育の徹底等ハード・ソフト一体となったバリアフリーの実現」
- 2 受賞理由

路面電車の延伸区間について、道路の歩道側を走行する「サイドリザベーション」方式を採用し、歩道から電車で直接乗降することが出来るようにしたことで、車椅子使用者の利用が伸びるなど、車両の低床化と併せ、安全性・利便性が大きく向上した。

また、地下鉄全駅に可動式ホーム柵を設置したこと。「専用席」の設置を通じた利用者マナーの浸透、全駅員を対象とした介助研修の実施等のソフト対策により、高齢者・障害者が安心して地下鉄を利用できる環境の整備も受賞理由となった。



【お知らせ】

☆協会 HP に、新しい資料を追加しました。

【国の動き】「[\(独法\)鉄道建設・運輸施設整備支援機構の理事長を公募します](#)」
を掲載しました。

【協会の行事】平成 30 年 1 月 25 日(木)に「平成 30 年度地下鉄関係予算説明会」、
「講演会」及び「賀詞交歓会」を開催します。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp